

おやこひろば たかたん

26年度

ひろばも、多くの先輩方やボランティアの方々に支えられて4年目となりました。温故知新、継承すべきことや新しく取り組むことなど、年度初めにスタッフ会議の中で検討しました。

次の①～⑤のように大きく柱立てをしています。

①利用者の親子の遊びや、保護者の気持ちを尊重し、見守りの言葉を大切にします。

- ・親子の遊びを主体とし見守り、遊びが発展できるきっかけや、子どもの成長に合った支援が必要な場面を捉えて言葉を添えていく。
- ・なかなか話の輪に入れない保護者に、同じくらいの月齢の子どもを持つ保護者と近づけて共通の話題を見つけて話ができたり、悩みなどを話せるようなきっかけをつくる。
- ・②の災害時においても重要で、参加の子どもが心豊かに、また安定して遊ぶ時間と場所の確保として人数制限に協力をお願いします。

②命を守る事、災害時の対処や事故の防止について考えていく機会を持ったり、訓練等の実施。

- ・避難訓練の充実、月1回の避難訓練を実施し多くの災害において自分の命を守る事で、まわりの人の命を守る。避難の方法、備蓄品、非常持ち出し品、非常食、非常灯(灯りづくり)実演、実習を取り入れる。
- ・危険などところで子どもへの配慮等を確認し、ルールを身につける習慣がつくよう機会を作る。

③子どもたちに心地よい刺激を与えることで、発見や挑戦、工夫ができるきっかけを大切にします。

- ・おもちゃの配置や、環境設定の変化に子どもが気づくことができるような設定を心がける。
- ・環境設定に親子で参加し、作る喜びを知らせたり季節の変化に気づく機会を作る。

④親子のふれあいを深めるきっかけとして、歌を歌ったりすることで親の声を聞く機会を増やす。

- ・年間通して季節の歌や昔から受け継がれてきている唱歌を大切にし、また子どもが膝の上で保護者の声の温かさを感じる機会とする。

⑤受付事務に時間をとられ、親子の遊びのスタートが遅くならないようにする。

- ・受付に並ぶことに時間がとられ混雑してしまい、子どもに目が行き届かないので事務手続きを速やかにするために登録票を発行する。
- ・登録カードを作成し、災害時に対応できるように名簿を一括管理する。
- ・対象児の年齢や地域、参加人数の状況等が把握しやすいことで現状把握の手段とできる。

また保育を志す短大の中にひろばがあるということで、学生にも充分活用してもらって環境設定や保護者対応に役立ててほしいと願っています。

①親子でままごと、「おいしいね」「どうぞ」の会話が聞こえます。



②災害時に備えて、サラダオイルランプ・ポリ袋レシピ料理



③季節を感じる壁面、親子制。



③ペットボトルのゲーム。「入るかな?」「落ちてきた!」

④ふれ合い遊びや、お母さんの歌声を聞いて心地よい気持ちになります。



⑥登録カードと参加者番号。



学生との交流、人形劇を見る。

平成26年度 子育て応援隊

10月現在

No	月日	行事	内容	人数	依頼団体
1	4月13日	花まつり	パルンアート	4	神辺地区仏教団
2	6月22日	第59回三重県・第44回鈴鹿市母親大会	乳幼児の保育	5	第59回三重県・第44回鈴鹿市母親大会実行委員会
3	7月5日・6日	みえこどもの城 キッズおしごと広場	地域企業のイベント補助	19	三重こどもわかめの育成財団
4	7月11日	高岡ほろりん保育園夏祭り	夏祭りの各コーナー補助	6	高岡ほろりん保育園
5	7月12日	高田保育園夏まつり	夏祭りの各コーナー補助	16	高田保育園
6	7月19日	ほろりん保育園夏祭り	夏祭りの各コーナー補助	6	ほろりん保育園
7	7月19日	しんまち夏まつり	パルンアートコーナー	7	新町地区自治会連合会
8	7月26日	まつさか幼稚園納涼大会	夏祭りの各コーナー補助	6	まつさか幼稚園
9	8月2日	三重済美学院納涼祭	各コーナーの手伝い	5	三重済美学院
10	8月5日	子育て支援ハロハクラブ	子育て支援	4	高岡ほろりん保育園
11	8月21日	子育て支援ハロハクラブ	子育て支援	5	ほろりん保育園
12	8月28日	子育て支援ハロハクラブ	子育て支援	5	高岡ほろりん保育園
13	8月28日	子育て支援ハロハクラブ	子育て支援	5	ほろりん保育園
14	10月4日	わくわくフェスタ	あそび広場の企画・運営	22	三重県
15	10月5日	わくわくフェスタ	あそび広場の企画・運営	28	三重県
16	10月11日	白子幼稚園運動会	園児の教護、演技準備補助	10	鈴鹿市白子幼稚園
17	10月11日	ハートピア保育園	園児の教護、演技準備補助	3	ハートピア保育園



今年度もたくさんの学生が「子育て応援隊」として、いろいろな地域で子ども達と触れ合う経験をさせていただきました。ありがとうございました。

新入会 研究員の紹介



2001年より非常勤講師として高田短大に勤務しておりましたが、本年度より専任教員となりました。育児センターにも研究員としてお世話になります。

ママ友の皆さんから「おやこひろばたかたんは、私たち親子の心の拠りどころで、育児に悩んでいる時も温かくサポートしてもらい、本当にありがたい」との声を頂き、身の引き締まる思いです。みなさまと共に楽しみ、共に成長しあえるよう精進していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

秋田 郁



4月より子ども学科で「保育内容-健康」「教育実習指導」の授業を担当しています。幼稚園現場での経験が少しでも生かせるようにと考えています。

今までの幼稚園生活で出会った子どもたち、保護者や地域の方々、職場の仲間は、私にとって宝物となっています。この高田短大での出会いも、自分にとって大切なものとなるように、また私自身がそう思われる存在となるように努力をしたいと思います。よろしくお願いいたします。

青木 信子



4月より子ども学科に着任したことが縁となり、研究員として参加させていただくことになりました。育児文化研究センターでは、「おやこひろばたかたん」をはじめ、多様な活動を通して多くの人が気軽に交流を深める場を提供しており、そのことが地域のみなさまやスタッフ、学生などの結びつきを確かなものにしていくように思います。地域に貢献できるような事業を展開していくために、お役に立てるよう努めていきます。

大野 僚



平成26年4月1日付けで高田短期大学子ども学科に着任し、幼児造形科目を担当しています。授業では、子どもの自由で自発的な遊びを支えることができる保育者養成を目指し、学生が自ら想像力と創造性の高い制作活動に取り組むよう指導しています。また、学生が「おやこひろば」で子どもたちと触れ合い、豊かな造形活動が展開できるよう積極的な支援を行いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

林 韓燮



名古屋市内の保育者養成校から異動してまいりました藤重と申します。科目は「保育内容言葉」「保育実習(施設)」等を担当しております。この歴史ある「たかたん」で、未来ある子どもたちのことをみなさまと一緒に考えられますこと、大変嬉しく思います。これから保育者となる学生へも還元していけるよう努力してまいります。ご指導ご助言よろしくお願いいたします。

小さなお友達や保護者の方との新たな出会いも楽しみです。

藤重 育子



4月より子ども学科で「乳児保育」と「子どもの保健」を担当させていただいています。今までは助産師として地域で活動したり、大学教員として看護学を研究していました。現在4児の母親として育児真っ最中でもあります。毎日子どもたちの成長に驚いたり、大人が想像もしない行動に一喜一憂する日々を送っています。

微力ですが頑張りますのでよろしくお願いいたします。

長倉 里加



私は、津市健康福祉部子育て推進課に勤務しており、今年度から研究員として参加させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

さて、現在、市では、子ども・子育て支援新制度の平成27年4月からの施行に向けて、保護者や子ども・子育てに関わる団体の代表者、学識経験者などからなる「子ども・子育て会議」を設置し、御意見をいただきながら、幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的、計画的に進めていくための事業計画の策定に取り組んでいます。

子ども・子育て支援は、行政だけでなく、家庭や地域、事業者等すべての連携のもと行っていくものですので、皆さんとしっかり連携をして、安心して産み育てられる環境づくりを目指していきたいです。

また、貴学で実施されております「おやこひろばたかたん」の取組は、利用者も多く、子育て家庭の支援において学ぶべきことが多いところでもあります。

今後も、地域の子ども・子育て支援の充実に向けて、専門分野からのご指導やご支援等をよろしくお願いいたします。

谷口 ひろみ

～前期センター会議～

前期センター会議が5月13日(火)に開催されました。会議では前期センター事業についての話し合いやグループ研究会等の説明、研究員による話題提供がなされました。

- 1.センター事業について
 - (1)平成25年度事業報告
 - (2)平成26年度事業計画
- 2.研究会等の報告



- (1)グループ研究会
 - 1)「子育て支援の現状と課題」
 - 2)「子育て支援のひろばについて」
 - 3)「子どもの基本的な生活習慣の発達基準と育児」
 - (2)津市委託研究事業
 - 3.話題提供「子ども子育て支援制度の動き」(提供者: 杉本郁夫研究員)
- 後期センター会議は12月11日(木)を予定しています。

～第38回定例研究会～

第38回定例研究会が7月15日(火)に行われ、以下の内容での研修、研究報告等がなされました。①研修「実践(事例)研究の意義」では千草篤磨研究員より質的研究の変遷について発表がなされ、研究倫理として守るべきこと、「尊厳」を考え直す大切な学びにつながりました。

- ①研修 千草篤磨研究員 「実践(事例)研究の意義」
- ②研究報告 山本敦子研究員 「幼児の合奏導入のための音楽遊びに関する授業実践研究(2)～音のイメージを広げる遊びを中心に～」
- ③グループ研究会報告



第39回定例研究会は11月5日(水)
第40回定例研究会は平成27年2月19日(木)を予定しています。

津市委託事業

津市ひろば関係者交流会事業(つながりひろば)

- 第1回 5月22日(木)18:00～20:30 津市立桃園幼稚園
①話題提供「幼稚園での子育て支援～つながりづくり～」
②ワークショップ「『人とつながり』をつくるには」
- 第2回 8月28日(木)18:30～20:30 津リージョンプラザ
①話題提供「津市社会福祉協議会(社協)を知る」
②ワークショップ「地域(小学校区)でつながりをつくる仕掛けを考えよう」



津市子育て支援者事業

親子のかかわり支援について「親支援の援助技術」を中心に企画、実施しています。
第1回 7月11日(金)18:30～20:30
テーマ:「子育てはっぴい パパ・ママワーク」の活用
講師:東浦重人氏(県少子化対策課)
対象:子育て子育て支援者

津市親支援事業

お母さん、お父さんを対象にした「子どもとの愛着形成、お母さんのリラクゼーション」についての研修会を企画、実施しています。

- 第1・2回 7月26日(土)10:00～12:00 久居総合福祉会館
父親教室 「赤ちゃんパパのふれあい・ベビーマッサージ」
母親教室 「子育て中のママドクターのお話と子育て交流会」
- 第3・4回 11月1日(土)10:00～12:00 高田短期大学
父親教室 「赤ちゃんパパのふれあい・ベビーマッサージ」
母親教室 「ママソングを歌おう・音の鳴るおもちゃづくり」



センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学 育児文化研究センター

〒514-0115
三重県津市一身田豊野195
TEL. (059) 253-7020 (センター直通)
(059) 232-2310 (代表)
FAX. (059) 232-6317
Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



編集後記



今年度も学内外より新たな研究員をお迎えすることができました。

当センターでは多彩な専門分野の研究員の方々のお力を寄せていただき、子育て・子育て支援の研究と、地域貢献・連携の事業を展開してまいります。

今後関係者の方々、地域の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。